



相談電話(092)741-4343 24時間年中無休

## 不安定な現代社会といのちの電話

福岡いのちの電話 理事長

**久保千春**

(中村学園大学 学長)



新年明けましておめでとうございます。

私は、2021年6月より理事長に就任し1年半が経過しました。コロナ禍の中ですが、福岡いのちの電話の事業として電話相談、インターネット相談、相談員の養成・継続研修、自殺予防対策啓発事業、相談の対応、広報活動、募金・後援活動、各種委員会・班会の定期的開催など多くの活動を行っています。活動の中心となる電話相談は、現在、約170名の相談員によって年中無休体制で行っています。

現代社会は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）、ロシアのウクライナ侵攻に見られるような紛争やそれらに伴う物価高、さらに少子高齢化、財政難、格差拡大、経済原理優先などが進み、政治、経済、社会全体が不安定化しています。

家庭、学校、職場、地域社会などの生活環境においても、家族システムや価値観の変化で人間関係が希薄化し、そこに一因があると感じられるさまざまな事件が日々繰り返し報道されています。

また、地球規模で見ると、温暖化や大気汚染、人口増加、新興感染症、食料問題、地震や台風などの自然災害の激甚化など、多くの課題が生じています。このままでいけば、地球や人類の将来が大変危惧されている状況です。

一方、新たな技術が急激に進展してきています。多様な機器とインターネットをつなぐIoT（Internet of Things）やロボット、人工知能（AI）、ビッグデータは、

社会の在り方に大きな影響を及ぼし始めています。科学技術は大きく発展しており、技術革新によって生活は便利になってきている反面、地球環境悪化、核開発や生殖細胞遺伝子操作の危険性などの負の側面が生じています。そのために国連は2015年、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を2030年までに解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるための共通の17の目標、SDGs（持続可能な開発目標）を設定していますが、現在の状況からみると目標到達は悲観的な状況です。

ところで政治・社会・経済問題点のしわ寄せは弱者にきます。日本医師会総合政策研究機構が2022年3月、国民の意識の変化について調査しています。「あなたはコロナ禍でひどく気分がふさぎがちになったり、憂鬱な気持ちが強くなったりして、専門家などに相談したいと思ったことがありますか」に対して、そのような状況があると回答した人は全体では17.4%であり、男女別では、女性は「ある」が20.1%で男性より高く、そのうち30~39歳の年齢層では32.3%で最も高い割合でした。若い女性の自殺者が増えていることとも一致しており、精神的不調に対する対応が引き続き必要です。ますます厳しい政治・社会・経済状況になりつつありますが、皆さまのご協力をいただきながらいのちの電話活動をやっていきたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

# 結婚の自由をすべての人に訴訟と、性の多様性について

弁護士 石井 謙一 氏

(結婚の自由をすべての人に九州訴訟弁護団 共同代表)

(福岡県弁護士会 LGBT委員会 委員長)

11月22日（火）午後6時30分から九州キリスト教会館4階ホールで、弁護士で「結婚の自由をすべての人に九州訴訟弁護団」共同代表の石井謙一氏を講師にお招きして、第3回全体研修を標記のテーマで行いました。

## ■性の多様性

はじめに、性自認と性的指向からお話しします。性自認とは、自分が男性、女性、どちらでもない、流動的といったアイデンティティのことを言います。出生の際に割り当てられた性（戸籍上の性）と一致する場合と一致しない場合があります。性的指向というのは、性的に惹かれる対象の性のことです。どの性を好きになるかということです。性自認や性的指向は、男性、女性のどちらか1つといった単純なものではありません。自分の性を男性と女性のどちらでもあると感じる方や男性でも女性でもないという方がいます。どちらの性にも惹かれるという方や誰にも魅力を感じないという方もいます。性のあり方は一人一人違っていてとても多様なのです。

性の多様性を LGBTQ+ といったカテゴリーで表すことがあります。これらを使うことで性自認や性的指向がわかりやすくなったり、安心できたりするという効果がありますが、注意して使うことが必要です。性的少数者を自分たちと違う特別な人だと区別するためにこれらの言葉を使うのではなく、性の多様性の表現として使うことが大切です。

家庭や職場や学校などでは、性的少数者への根強い差別や偏見があります。当事者は、ばれないように隠

したり、嘘をついたりして、常に緊張に曝されて生きています。多くの大変さを抱え、家族にも言えずに孤立し、悩み、とても苦しんでいます。性的少数者は存在しないものとして扱われることが多く、自己嫌悪や自責の感情を抱き、自殺に至ることもあります。

## ■結婚の自由をすべての人に訴訟

続いて、「結婚の自由をすべての人に訴訟」についてお話しします。「パートナーが入院したときに医師

から説明を受けられず面会もできなかつた」「パートナーを扶養家族として所得税申告をすることを拒否された」「パートナーとの死別に際し、住居から退去を求められた」といった困難が存在します。240以上の自治体でパートナーシッ

プ制度が実施され、そこでは公的に認められたという安心感を得ることはできるものの、法律上の婚姻ではないため実際の困難の解消は限定的です。海外ではおよそ30の国で同性カップルに婚姻が認められていますが、日本ではまだ認められていません。

2019年に札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で結婚の自由をすべての人に認めることを求める訴訟を起こしました。国家賠償請求訴訟という形をとっていますが憲法違反を問う裁判です。同性カップルに憲法13条



にもとづく人格的生存に不可欠な自己決定権が保障されること、憲法24条にもとづきいつ誰と婚姻するかは当事者の自由かつ平等な意思決定に委ねられること、憲法14条にもとづき性別や性的指向によって差別されないことが保障されることを求めていました。多

くの方に関心を持っていただくことが私たちの力になります。応援をよろしくお願いします。

結婚の自由をすべての人に訴訟・九州 URLまとめ  
サイト <https://linktr.ee/kejisubekyushu>

## 研修を受けての感想

Y. K.



石井弁護士のお話を伺って、いろいろ考えました。私の世代は、幼い頃から固定した男と女の社会を刷り込まれているように思います。でも実際には、性自認、性的指向共に多様な在り方があって、すべての人が、いろんな要素を持ち合わせているのだなと納得しました。

昔ながらの性別の在り方にあてはまらない当事者の方々の「困難リスト」の話で、具体的にたくさんの困難があることを実感しました。特に、家族からも差別されてしまうケースが多いというのは、きびしい事です。更に「差別の内在化」という話は、当事者が、自分で自分の事を気持ち悪いと思ってしまうという現実で、とても苦しい気持ちであろうと思います。

ある当事者の方が、こどもの電話相談にかけて、はじめて自分の悩みを聞いてもらい救われたとい

う話もありました。私たちのところにも、LGBTQ+の方からと思われる電話があります。その方々が抱えている困難に寄り添う為には、自分の中の「性別」に対する認識を捉え直し、差別のない包容力のある感覚にしておかなければいけないと思いました。

同性婚訴訟の話では、今の日本人権感覚の遅れを感じました。すでに世界の文化的な多くの国で同性婚が法的に認められているのに、日本ではなぜそれが進まないのか。日本国憲法と照らし合わせても、認められるべきであるのが、よくわかりました。日本の社会の在り方を、改めて考えさせられます。

今回の研修では、多数派の側にいてはわからない事を、考える機会になったと感じました。

## 2022年度 自殺予防公開講座のお知らせ

全国の自殺者数は2012年から減少が続いていましたが2020、21年と増加しました。男性の減少に比べ女性が増加しているのが特徴です。長引くコロナ禍の影響とみる専門家もいます。

今回のお話は、16歳の時に自殺未遂をした豆塚エリさん。豆塚さんは車いす生活をしながら、詩人、エッセイストとして死にたいほどに悩む人へメッセージを送り続けています。

- とき：2023年3月5日（日）午後2時開始
- ところ：NTT夢天神レソラホール
- 内容：「しにたい気持ちが消えるまで～しにたい気持ちを抱える子供たちへ先輩が伝えたいこと～」
- 講師：豆塚 エリ 氏

主催：社会福祉法人福岡いのちの電話

社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

福岡いのちの電話後援会 理事

川原 武浩

(株式会社ふくや 代表取締役社長)



## ボランティアベースでの活動の大切さ

1970年の国勢調査によると、当時の1世帯当たり平均世帯人員は3.41人。これが最新の2020年のデータでは2.21人と大きく減少し、全世帯のうち実に4割近くが単身者世帯という時代になっています。2人世帯も加えれば全世帯の7割弱、人口ベースでも4割以上の人人が1人か2人で暮らしているというのが今の日本の姿です。少子高齢社会の一層の進行で、今後もこの単身者世帯が増加する傾向は変わらないどころか、より強くなっていくと言われています。

私は、「いのちの電話」が日本で活動を開始した年と同じ1971年生まれ。生まれ育った実家は福岡市西区（現・城南区）の新興住宅地にあり、3.41人どころか三世代が同居する賑やかな家でした。向こう三軒両隣とのおつきあいも深く、家族どころかご近所の人までもが声掛けをしてくれるという、孤独を感じるどころか「たまには一人になりたい」と思うほど、常に近くに誰かがいるというような環境でした。時にはつまらない悩みで元気が出なかったり、体調が今一つで顔色が悪かったりすれば誰彼となく話しかけてくれるというのは、「悩みを解決する」ことはなくても「悩みを大きくしない」という効果があるのかもしれません。

私の祖父、川原俊夫は第二次世界大戦に従軍し、沖縄・宮古島の地で終戦を迎えました。その悲惨な戦争体験からでしょうか、生きながらえた命を「世の中の役に立つ生き方をする」ために使うと定め、

ふくやを創業したそうです。弊社創業者夫妻をモデルにした映画「めんたいぴりり」の中で、台風で被災した赤の他人に食事を振る舞うというシーンが描かれていますが、そういったボランティアを人に言うでもなく、見返りを求めるでもなく、「陰徳」という形で行ってきました。ふくやは現在でもその創業者の想いを引き継いで、地域貢献や社会貢献の活動を行っています。

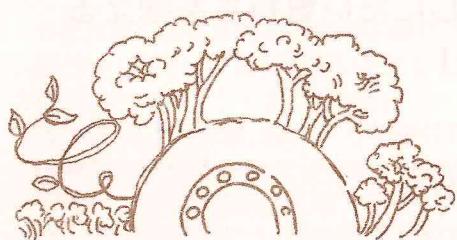
コスパやリターンといったような即物的な言葉があふれる昨今でははやらない考え方かもしれません、この「陰徳」は、今の世の中にこそ必要な考え方・行動規範なのではないかと感じます。これは「いのちの電話」をはじめとしたボランティアベースの社会活動全般にも通じることで、何か個人への見返りがあるわけではなくても、見知らぬ誰かを助けようとするその行動の総和が、回り回って優しい社会をつくることにつながっているのだと思います。

スマートフォンの普及やSNSの発達などで人と交流する方法は増えましたが、その裏返しとして、リアルな場でのつながりは減ってきているように思います。そこに加えてのコロナ禍で、ここ数年で「誰かに悩みを聞いてもらう」ということへのハードルは一段と上がってしまいました。「いのちの電話」は、この社会構造や社会環境の変化で消えかかっているものを補う大事な活動なのだと改めて感じています。

### 新事務局長の紹介

11月1日付けを持って、金子英次が福岡いのちの電話事務局長に就任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

河邊正一前事務局長は顧問に就任しました。





## ボランティア養成講座が始まりました

10月5日（水）九州キリスト教会館において、第48期ボランティア養成講座開講式を行いました。今期は電話ボランティア18名、事業ボランティア1名の19名が書類審査、面接を経て参加しました。

開講式では、日本いのちの電話連盟制作の動画を視聴、濱生正直副理事長の講演を受講しました。続いて参列した理事、教育委員、電話ボランティア養成サポーター、事務局員の紹介があり、第48期ボランティアが自己紹介を行いました。

電話ボランティアは今後2年にわたって、講座の受講、電話実習を受けることになります。事業ボランティアは早速「手づくり会」等で活動を開始します。



## チャリティゴルフが開催されました



10月4日（火）、糸島市にて福岡城東ライオンズクラブ主催で「福岡いのちの電話支援」チャリティゴルフが行われました。今回は第35回。福岡いのちの電話開設間もないところから開催されているイベントです。このゴルフ大会には例年事業ボランティア員が参加し協力しています。

## ハートフルフェスタに参加しました

福岡市人権啓発センター主催の「ハートフルフェスタ福岡2022」が開催されました。10月23日（日）、ソラリアプラザ1階での団体紹介に参加し、福岡いのちの電話のパンフレット、会報等を展示しました。コーナーでは「日本いのちの電話連盟」制作の「いのちの電話」を紹介した動画（DVD）も上映。市民へのアピールを行いました。



# ご援助 ありがとうございます

## 寄附感謝報告 2022年9月1日～2022年11月30日（敬称略・受付順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

\*このご寄附には所得税、県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。

また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



### 千人会

西林寺 安武義修	10,000
萬年浩雄	10,000
野田尚武	10,000
村上晃二(村上歯科医院)	10,000
林 幹男	20,000
山口祐司(福岡浦添クリニック)	10,000
川原 健	10,000
匿名	10,000
吉野 正	10,000
見元伊津子((医)同仁会乙金病院)	10,000
太田輝幸	10,000
木上勝征	10,000
住吉康平(住吉クリニック)	20,000

安藤 寛((医)あんどう小児科医院)	10,000
高口愛子((医)高口歯科医院)	10,000
山田 真(株)大丸別荘	10,000
乙藤秀臣	10,000
仲吉則雄(なかよし眼科クリニック)	10,000
松原妙子	20,000
西福岡病院	10,000
長通三思	10,000
山手誠之助	10,000
東長寺	10,000
松本一郎((医)松本小児科医院)	10,000
高宮義臣((医)高宮外科内科医院)	10,000
佐藤好史	10,000
佐藤文彦	10,000
村岡重弘(むらおか歯科医院)	10,000
江上裕子	10,000
佐藤英彦	10,000
洞 庸雄(雷音寺)	10,000
有吉塚酒店	10,000
佐藤 勉	10,000
大島義太郎	10,000
藤見和代(藤見内科医院)	10,000
神宮純江	10,000
金藤哲明(金藤歯科医院)	10,000
三木 宏(平尾山病院)	10,000
山崎芙美子	10,000
佐野百合子	10,000
原 経博	10,000

## パイプオルガンの莊厳な響き堪能 福富由加里さんがチャリティー演奏会

福岡いのちの電話を支援しようと昨年9月17日午後、福岡市中央区の大名クロスガーデンで、チャリティーのパイプオルガン演奏会が開かれました。

市民有志による実行委員会の主催で、演者は福富由加里さん。これまで3回、チャリティー企画に出演いただいたオルガニストで、この日はバッハの「プレリュードとフーガ・ホ短調」や、メンデルスゾーンの「オルガンソナタ第三番」などを披露。約50人が莊厳な響きに耳を傾けました。

収益から寄付をいただいたほか、福岡いのちの電話から事業ボランティアメンバーが参加し、ロビーで手芸品などのグッズを販売。こちらも「どれも丁寧な作りで、しかも格安」と好評を博していました。





繁田公志(しげた消化器科・外科医院)	10,000
杉本登(杉本歯科医院)	10,000
金 長壽((医)おりお心和クリニック)	10,000
入江信行	10,000

**賛助会**

江口祐子	10,000
教法寺	5,000
正田美加	3,000
原田元子	2,000

**一般寄附**

田中幸彦	3,000
小川栄子	3,000
旗島淑子	10,000
田中幸彦	2,000
匿名	3,000
執行好子	10,000
若杉山文殊院 高瀬覚照	5,000

大野道雄	10,000
森富士恵	3,000
野島一彦	10,000
山下奈保美	10,000
真鍋順子	10,000
佐藤憲平	3,000

樺島敏雅(樺島としまさ法律事務所)	5,000
石村重哉	2,000
河邊正一	10,886
高比良俊一 高比良美祢	10,000
福岡城東ライオンズクラブ	300,000
国際ソロプロミスト福岡 - 東	200,000
田中幸彦	3,000
植田治夫	3,000
川口榮造	20,000
松尾公孝	30,000
松井時子	500,000
吉村松子	20,000
平川厚子	10,000

**コカ・コーラ支援自販機**

(財) 恵愛団(九州大学病院内)	81,318
西部ガスホールディングス(株) (パビヨン24内)	95,575
西部ガスホールディングス(株) (油山研修所内)	4,005
西部ガス都市開発(株)(サンテ飯倉内)	3,692
西部ガス都市開発(株) (ニシコ一千代ビル内)	6,650
(有)ダイキ通信工業(自社内)	26,971
南蔵院(JR城戸南蔵院駅)	53,356
(株)西日本新聞社(本社)	98,501
(株)西日本新聞プロダクツ(製作センター)	45,997
福岡県弁護士会(福岡県弁護士会館内)	7,464
JFEパイプライン(株)(自社内)	3,147

**生命保険協会から寄附贈呈**

11月30日、福岡いのちの電話事務局にて、生命保険協会様からご寄附を頂戴しました。2020年から続いてのご厚志に感謝申し上げます。

(写真は、浅野晋良(生命保険協会)様(右)と金子事務局長(左)です)

**ご寄附は下記の振込先まで  
お願いします**

銀行口座：口座名義＝社会福祉法人 福岡いのちの電話

福岡銀行赤坂門支店 (普) 1147617

西日本シティ銀行天神支店 (普) 2131458

郵便口座：福岡いのちの電話 01720-9-1037

**千人会 1口1万円／年 (何口でも)**

**賛助会 1口2千円／年 (〃)**

**法人会 1口3万円／年 (〃)**

ご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。



# INFORMATION

## インフォメーション

日誌

2022.9.1～2022.11.30

9月

- 1 第46期養成講座閉講式
- 3 インターネット相談活動班会  
研修運営班会  
北九州センター開局45周年記念式典(参加)
- 5 相談活動運営委員会
- 6 日本いのちの電話連盟統計システム委員会(web)
- 8 広報活動班会
- 10 フリーダイヤル  
「自殺予防いのちの電話」
- 13 事業ボランティア「手づくり会」
- 14 第6回理事会
- 16 受信資料検討班会  
広報活動班会
- 17 バイプオルガンチャリティコンサート  
自主研修「ケースと私」
- 21 事務局会議  
電話ボランティア養成サポート会  
第6回教育委員会
- 24 事業ボランティア「手づくり会」
- ～25 電話ボランティア養成サポート会  
継続研修(講師:本山智敬氏)
- 10月  
3 相談活動運営委員会

- 4 福岡城東ライオンズクラブ  
チャリティゴルフ大会
- 5 電話ボランティア養成サポート会  
第48期ボランティア養成講座  
開講式
- 8 第48期ボランティア養成講座  
記念講演(講師:濱生正直氏)
- 10 電話ボランティア養成サポート会  
新規研修(講師:松尾公孝氏)
- 10 フリーダイヤル  
「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「手づくり会」  
ハートフルフェスタ福岡説明会  
(参加)
- 19 電話ボランティア養成サポート会  
第48期養成講座  
(講師:太田義隆氏)
- 20 広報企画会議
- 21 福岡市 社会福祉法人等指導監査
- 23 ハートフルフェスタ福岡(参加)
- 24 第7回教育委員会
- 25 事業ボランティア「手づくり会」  
日本いのちの電話連盟・統計システム事業委員会(web)
- 27 第7回理事会  
受信資料検討班会
- 28 受信資料検討班会

11月

- 2 第48期養成講座  
(講師:山崎一馬氏)
- 7 相談活動運営委員会
- 8 事業ボランティア「手づくり会」
- 10 フリーダイヤル  
「自殺予防いのちの電話」
- 12 自主研修「ケースと私」
- 13 日本いのちの電話連盟ホームページ  
(web)
- 15 研修運営班会
- 16 第48期養成講座  
(講師:吉良安之氏)
- 17 第8回教育委員会
- 17 社会資源研究班会
- 19 インターネット相談活動班会
- 22 事業ボランティア「手づくり会」  
事務局会議  
第3回全体研修(フリーダイヤル研修を兼ねる)(講師:石井謙一氏)
- 24 第8回理事会
- 25 受信資料検討班会  
第47期生3か月ミーティング
- 29 広報活動班会
- 30 生命保険協会寄附金贈呈

### 【編】集【後】記

新しい年が始まりました。今年はどのような1年となるのでしょうか。昨年は、あってはならない、地獄のような光景を、ウクライナで見せつけられた1年でもありました。連日ロシアがウクライナ全土にミサイルを撃ち込んで、一般市民が被災しているのに、誰もその行為を止めさせることができない。強い違和感ともどしさを感じた1年でした。また、昨年の後半は、元首相の暗殺というショッキングな事件で始まりました。このような重大なテロ行為がほとんど話題にならず推移したことには意外でした。日本は大丈夫でしょうか。理由や動機は何であれ、暴力で世に自らの主張を通そうとすることは、あってはならないことだと思います。

リレー随想で、見返りを求める、人の為に尽くすというエピソードが紹介されていました。陰徳あれば陽報あり。情けは人の為ならず。ただ、このフレーズにはそこはかとなく見返りを意識した香りが漂います。見返りを求める志は、人の為に尽くして、しかもそのことをすっかり忘れてしまうということだと思います。

殺し合うのも人間、助け合うのも人間です。すべての人々が、人の為に尽くして見返りを求める志に満たされる世が訪れたなら、どのような風景となるのでしょうか。そうありたい。せめてそのような気持ちを持ち続けられる1年にしたいものです。

(K. S.)

2022年9月～2022年11月

電話受付件数	3,267件
延べ相談員数	970人
延べ受信時間	111,736分

### 発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7

社会福祉法人 福岡いのちの電話

TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343

ホームページアドレス

<http://www.f-inochi.org/>

発行人 久保 千春

編集人 古賀 俊次



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。